

## 十条武田リハビリテーション病院の沿革

年	月	項目
2001年	11月	医療法人大羽病院（大羽病院・第二大羽病院）を承継し運営を開始
2002年	2月	法人名変更 医療法人大羽病院→医療法人財団医道会 病院名変更 第二大羽病院→十条病院
	4月	マルチスライスCT 導入
	10月	十条病院増改築工事開始
2003年	7月	更正医療（腎臓）機関指定
	9月	血液透析センター運用開始（20床）・救急室移設
	11月	既存棟（東館）3階改修工事完成 125床→153床（一般病床）
	12月	既存棟（東館）2階改修工事完成 153床→182床（一般病床）
2004年	3月	増改築工事完了 リニューアルオープン
		MRI（EXCELART VANTAGE）導入
		心療内科標榜
	4月	遠隔画像診断（テレパソロジーによる病理組織迅速顕微鏡検査）
	6月	総合リハビリテーションA施設・特殊疾患入院施設管理加算（44床） 3B病棟 運用開始
	8月	開放型病床（5床） 運用開始
	9月	回復期リハビリテーション病棟（39床）3階A病棟にて運用開始
	10月	居宅介護支援事業所の開設 特殊MRI撮影
	11月	II群入院基本料3→I群入院基本料3へ
2005年	1月	十条訪問看護ステーション 開設
	9月	名称変更 十条リハビリテーション病院
2006年	2月	ISO14001拡大認証
	8月	一般病床（83床） 回復期リハビリテーション病棟（60床） 特殊疾患入院施設管理加算（39床）
	10月	皮膚科標榜
	11月	ハイパーサーミア治療開始
2007年	4月	専門外来 消化器科 開始
	5月	禁煙外来開始
	8月	経鼻内視鏡 導入
	9月	乳腺外来開始
	10月	防火優良認定証
2008年	4月	化学療法室運用開始 施設基準 回復期リハビリテーション1（2F病棟）
	8月	施設基準 回復期リハビリテーション2（3FA病棟） 回復期増床 60床→99床
		日本医療機能評価 Ver.5.0 認定
	9月	ポータブルエコー装置導入
2009年	2月	十条、駅前、東山周り新規定期バス運行開始
	4月	レセプトオンライン請求開始
	6月	東館空調設備入替
2010年	4月	休日リハビリテーション提供体制加算 施設基準取得 DI室 新設
	6月	デジタルマンモグラフィ装置導入
	9月	防火優良認定証～京都市南消防署～防火対象物点検報告特例認定
	11月	モニター診断開始
2012年	2月	診療科目追加 糖尿病内科・リウマチ科・肛門外科
	8月	骨密度測定装置導入
	10月	診療科目追加（糖尿病内科・リウマチ科・肛門外科）
2013年	4月	名称変更 十条武田リハビリテーション病院 人工関節センター開設
	9月	十条訪問看護ステーション 移転
	10月	回復期リハビリテーション病床増床 99床→100床 診療科目追加 放射線科
	12月	デジタルサイネージ配信開始 日本病院機能評価 3rdG:Ver1.0 認定

年	月	項目
2014年	9月1日	日本リウマチ学会教育施設認定（認定番号 776号）
		回復期リハビリテーション病棟入院料1 体制強化加算（施設基準認可）2階病棟、3階A病棟
	12月	電子カルテ導入
2015年	4月	井水設備導入
	10月	十条たけだ保育園 開園
		小規模型事業内保育施設：定員19名（地域枠5名、職員枠14名）
2017年	10月	地域包括ケア病床（19床）運用開始
2018年	7月	手外科センター開設
2019年	2月	日本医療機能評価 3rdG:Ver2.0 リハビリテーション病院（主たる機能） 認定(更新)
		日本医療機能評価 付加機能審査（リハビリ） Ver.3.0 認定
2021年	4月	骨粗鬆症外来 開始
	9月	循環器センター 開設
		新型コロナウイルス感染症受入医療機関指定
2023年	5月	障害者病棟転換、地域包括ケア病棟増床 19床→43床
2024年	10月	第3手術室 開設
2025年	3月	急性期病棟転換、地域包括ケア病棟増床 43床→60床
	4月	日本医療機能評価 3rdG: Ver3.0 リハビリテーション病院（主たる機能） 認定(更新)
		日本医療機能評価 高度・専門機能（リハビリ） ver.1.0 認定
	6月	外来透析機能廃止 グループ施設への集約・統合
	9月	MR I装置更新 キヤノンメディカル Vantage Gracian 1.5T